



# ふじさんネットワーク

FUJISAN  
NETWORK

URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

VOL.32



富士市より

## 富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

## 目次 Contents

1. 富士山エコレンジャー
2. 富士山環境保全活動推進事業費補助金の活用事例
3. 富士山静岡空港での取り組み
4. 富士山の日
5. 富士山の世界文化遺産登録に向けて
6. 会員活動紹介

## 1 富士山エコレンジャー

### (1) 富士山エコレンジャー講習会

富士山エコレンジャーの活動は、来訪者へのマナー啓発、自然解説等の情報提供、動植物の保護とその情報収集と、多岐にわたります。そのため、講習会の内容も富士山について基本的なことから専門的なことまで、自然関係のみならず文化関係、また五合目以上での実技講座など、幅広いものとなっています。

全44時間の講習のうち、40時間以上を受講した方が富士山エコレンジャーとして新たに登録され、4月からの活躍が期待されています。22年度の講習会も9月以降に開催予定です。富士山について学んでみたい方、1日からの受講でも結構ですので、ぜひご参加ください。

#### 平成21年度富士山エコレンジャー講習会開催実績

月 日	講 師	講習内容
9月27日	富士山エコレンジャー	(宝永火口周辺にて)富士山の植物・動物等について
10月18日	小山秀峰山岳会 会長 岩田忠次氏	(須走口にて)登山中の注意事項等 山岳遭難事故、救助法の実践等
	御殿場警察署	
10月25日	富士山自然誌研究会 会長 菅原久夫氏	富士山の植生と植物
	静岡地方気象台	富士山の気象
	静岡大学名誉教授 土隆一氏	富士山の特徵 - 地形・地質ほか
11月29日	富士山本宮浅間大社 宮司 中村徳彦氏	富士山本宮浅間大社の歴史
	富士宮市教育文化課	「富士に登る」信仰の登山からスポーツ・レジャーの登山へ
	富士常葉大学教授 山田辰美氏	富士山の生き物たち
12月13日	国土交通省富士砂防事務所	富士山における砂防事業
	富士宮市芝川町消防組合	普通救命講習
	富士山エコレンジャー連絡会 会長 仁藤浪氏	活動の基本
1月17日	県自然保護室	富士山の野生動物
	林野庁静岡森林管理署	静岡県の富士山環境保全対策等
	県世界遺産推進室	林野庁施策、富士山国有林 富士山世界文化遺産登録の取組
2月7日	環境省沼津自然保護官事務所	自然公園法、環境省施策
	富士山エコレンジャー連絡会 会長 仁藤浪氏	活動についてのグループ討論・発表



登山実践、救助法実践  
(須走口六合目付近)



普通救命講習  
(AEDの使用法)



## (2) 富士山エコレンジャー活動報告

平成21年度の富士山エコレンジャー登録者は22名。夏の登山シーズンだけでなく、年間を通して富士山地域で活動しています。平成21年4月から平成22年1月までの活動状況を報告します。

### 【活動実績】

月	4~6	7	8	9~1	計
活動日数(日)	26	8	13	19	66
延べ人数(人)	35	13	29	31	108

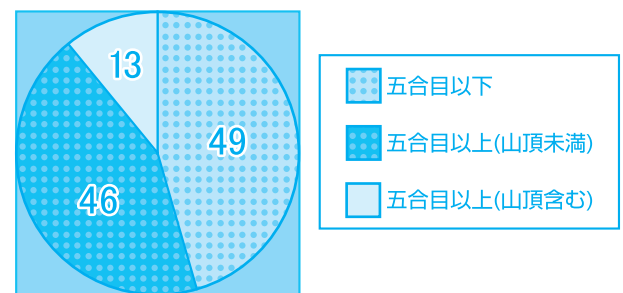
### 【活動内容】 (富士山エコレンジャー活動報告書より)

- ①来訪者へのマナー啓発（登山道でのお願い、シャトルバス内での説明）
- ②マナー違反や違法状況の報告（ゴミ、不法投棄、自然木の伐採、幕営など）
- ③来訪者への自然観察支援、自然体験研修支援
- ④登山道のガイドや負傷者の救援等
- ⑤登山道の利用状況などの報告（荒廃状況、標識不備など）
- ⑥動植物の保護と情報収集（ニホンジカの食害状況など）
- ⑦公的自然環境保全活動への参画（県新規採用職員研修、オフロード車パトロールなど）

### 【活動記録より（抜粋）】

- 6/6 宝永火口でニホンジカの糞を初めて確認。ミヤマヤナギ、カラマツにシカの食害が見られるようになった。
- 8/1 植物はオノエイタドリ、ミヤマシャジン、クルマユリ、ムラサキモメンヅルなどが観察でき、登山者にも説明することができた。
- 8/15 大砂走りで捻挫1人。五合目派出所まで付き添って下山。
- 8/22 隣に駐車した車に7人がいて、これから登山するとのこと。全員が耳が不自由な方であり、下手な手話で最低限の話ができて良かった。
- 9/20 西臼塚で捨て猫にかまれて怪我をした女性に消毒とカットバンの処置をして大変喜ばれ、良い思い出になったと感謝されました。

### 【活動場所】 (単位：人)



センサー・カメラに撮影された  
5頭のニホンジカのグループ  
(須山口登山歩道周辺)



ニホンジカに樹皮を剥がされた  
ナナカマド  
(須山口登山歩道2.5合目下)

## 2 富士山環境保全活動推進事業費補助金の活用事例

今年度の新規事業として、「富士山環境保全活動推進事業費補助金事業」を実施しました。会員の自主的な環境保全活動を補助金により支援することで、富士山憲章の周知定着と環境保全活動の更なる推進を図ろうとするものです。

今年度は6会員が補助金を活用した取り組みを行いました。

### <補助金活用事例>

#### ①静岡県ワンダーフォーゲル会 韓国「忠清南道庁山岳会」と一緒に富士山交流清掃登山

「静岡県ワンダーフォーゲル会」は7月11日、前日に日韓交流調印式（川勝静岡県知事、韓国忠清南道の李完九知事及び田村国会議員立会い）を行った韓国の「忠清南道庁山岳会」と一緒に富士山交流清掃登山をしました。

富士宮口五合目から登山を開始し、清掃をしながら下山する計画でしたが、濃霧と強風のため登頂を中止し、登山道から宝永火口まで行き、樹林帯の遊歩道を通して、五合目まで戻りました。清掃は樹林帯の遊歩道及び五合目の駐車場でを行い、終了後、県自然保護室作成の資料『富士山へ登る人のために』の韓国語版を利用し、日韓両国語で「富士山憲章」を唱和しました。

遊歩道にはごみがありませんでしたが、駐車場付近には「タバコの吸殻」「ビニールごみ」が目立ちました。韓国の登山愛好家は、富士山に対して非常に強い憧れを持っているので、来年は、ぜひ、多くの韓国登山愛好家と一緒に登頂したいと考えています。



富士宮口五合目  
韓国「忠清南道庁山岳会」のメンバーと

#### ②国立大学法人 静岡大学 科学的視点からの「富士山展」開催

静岡大学は平成21年11月13日から平成22年2月19日にかけて、静岡大学創立60周年記念事業として国立科学博物館とのコラボ展示会である「富士山展」を静岡市駿河区大谷の静岡大学大学会館にて開催しました。本展示会は様々な視点から富士山に関する最新の研究成果を広く紹介するもので、「富士山の生い立ち」「富士山を人々はどう見てきたか」「富士山が噴火したら」「富士山の知らなかった生き物」という4つのテーマに関する12枚の説明パネルや5枚のバナー、床に敷き詰められた5m四方の赤色立体地図、火山弾、宝永噴火の降下物のほぎ取り標本や静岡大学で研究している新種の生物標本などを展示しました。

展示場の一角には「富士山憲章」の全文を記したポスターと、現在進行中の富士山を世界文化遺産に登録する運動を紹介するパネル展示をし、来場者に「富士山憲章」を周知しました。

来館者は科学的な視点からの富士山の展示を通して、その秀麗な姿が如何につくられたのかを理解し、また富士山の火山としての長い歴史を体感することができたと思います。



熱心に赤色立体地図の  
作成秘話を聞く来場者

### 3 富士山静岡空港での取り組み

昨年6月4日に本県の空の玄関口である富士山静岡空港が開港しました。開港に伴い本県を訪れた国内外の多くの方が、富士山への興味・関心を示されていると伺っています。

富士山静岡空港でのふじさんネットワーク事業のPRの様子などを紹介します。

#### 富士山ピンバッジの配布

富士山静岡空港ターミナルビル1階にあるYショップ様のご協力をいただき、「富士山憲章」の周知・定着を図り、富士山の環境保全への関心を高めてもらうため、ふじさんネットワークの紹介を行い、環境保全活動への寄付を募り、富士山ピンバッジを配布しています。



Yショップレジ横で配布



SAVE Mt.FUJI  
300円



花シリーズ (5種)  
1,000円

#### ふじのくに自然環境映像の上映

静岡県では、富士山静岡空港2階ロビーでハイビジョンの美しいふじのくに自然環境映像「富士山の恵み」「いのちの泉しずおか」を65型の大スクリーンで上映しています。

映像を通して静岡県の素晴らしい自然環境の保全と次世代へ伝えることの大切さを共感していただけるよう静岡県の自然や富士山の魅力を紹介しています。

##### ①「富士山の恵み」

富士山の雄大なスケールと秀麗な姿を「火」、「水」、「文化」、「自然」の視点で構成。美しく臨場感のある四季折々の富士山の素晴らしい自然を概観できます。

##### ②「いのちの泉しずおか」

静岡県は、日本一の高低差7,000mにより生み出された多様で美しい自然を擁しています。静岡県を代表する富士山、南アルプス、伊豆、駿河湾、遠州灘海岸、浜名湖等における四季折々の景観や動植物の営みを概観できます。



スイッチで2つの映像と4ヶ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)を選択できます。

## 4 富士山の日 静岡県からの お知らせ

### <静岡県富士山の日条例>

#### 1. 経緯と趣旨

国民の財産であり、日本のシンボルである富士山は、その類まれなる美しい自然景観により、人の心を打ち、古くから信仰の対象となるとともに、芸術の源泉になってきました。

静岡県では、この富士山について、すべての県民が学び、考え、思いを寄せ、富士山憲章の理念に基づき、後世に引き継ぐことを決意する日として、2月23日を「富士山の日」と決めました。

富士山憲章は、平成10年11月に静岡県と山梨県とが共同して制定したもので、富士山と人との共生を最も重要な課題とし、富士山を愛する多くの人々の思いを結集して富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に引き継いでいくことを、全国に向けて宣言したものです。

静岡県では、山梨県と連携して、富士山の世界文化遺産登録を実現し、富士山憲章の一層の推進を図っていくこととしています。

#### 2. 「富士山の日」を契機とする取組

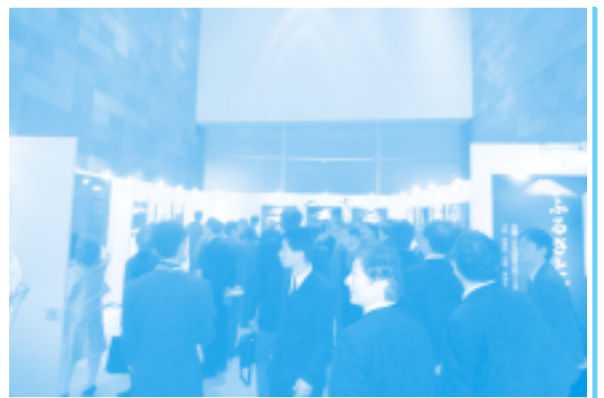
去る2月23日の第1回「富士山の日」では、市町、民間と連携し、富士山世界文化遺産フォーラムやふるさと富士写真展など、県内外で広報活動や各種の記念事業を展開しました。

静岡県では今後も、「富士山の日」の趣旨を踏まえ、富士山を後世に引き継ぐための県民運動の促進に努めるものとし、県民が日常の中で、それぞれの立場で、富士山憲章の理念に基づき県民運動を展開していけるよう盛り上げていくこととしています。

さらに「富士山の日」を契機として、地域を学び、世界に誇る富士山を抱く静岡県だからこそ可能な、日本の地域づくりのモデル～富国有徳の理想郷“ふじのくに”～を創っていくことを目指しています。



富士山の日制定記念  
富士山世界文化遺産フォーラム(グランシップ)



富士山の日制定記念  
ふるさと富士写真展(グランシップ)



## 5 富士山の世界文化遺産登録に向けて

静岡県からのお知らせ

### 公開セミナー「富士山を知ろう」を開催

富士山の文化的価値を県民の皆様に理解していただくため、県学術委員会委員を講師として3回シリーズの公開セミナーを開催しました。今回はその内容を紹介します。

#### 第1回『富士山の自然の特性』

■日時／平成21年9月12日(土) ■場所／富士市交流プラザ ■講師／土 隆一氏(静岡大学名誉教授)

- ・1700万年前、伊豆半島はフィリピン東方の熱帯火山群だった。それがフィリピン海プレートとともに北進し、200万年前までに本州に衝突した。富士山は、日本の陸上火山では稀な玄武岩の火山であることから、その衝突の際に南海トラフが折り曲げられ、大量の玄武岩マグマが供給されてきたと考えられる。
- ・富士山の主な湧水は、標高1000メートル以上で降った雨が10年から15年かかって湧き出していることが科学的な分析により判明している。



#### 第2回『こころのふるさと 富士山の歴史と信仰』

■日時／平成21年10月3日(土) ■場所／裾野市東西公民館 ■講師／中村羊一郎氏(静岡産業大学教授)

- ・富士山の噴火は、一般人には理解できない神業であり、噴火を鎮めることが浅間神社の原型となった。また、富士山は、漁師や航海者にとって自らの位置を測るための目印だった。特に漁師からは、海上安全、大漁の神様として信仰されていた。
- ・人々は、昔から富士山に人格を与え、神聖なる山として富士山から特別な力をもらっている。富士山には、原始的な山岳信仰の形態が残っており、世界的にみてもまれな精神の象徴として位置づけられている。



#### 第3回『富士山はいかに描かれてきたか』

■日時／平成21年10月17日(土) ■場所／清水テルサ ■講師／片桐弥生氏(静岡文化芸術大学准教授)

- ・『伊勢物語』九段では、「富士山は京都でいえば比叡の山を二十ばかり重ねた程で、形は塩を盛ったよう(円錐型)である」と紹介されている。
- ・鎌倉時代以前は、富士山の実際の姿を見た人が少なく、描かれた絵は山の傾斜が実際よりも急で、高い山ということが強調された。鎌倉時代になると東海道の往来が盛んになり、富士山を目にする人が増えたことから、実際の形に近い絵が描かれるようになった。



#### 《現地学習会》

■日時／平成21年11月15日(日) ■視察地／富士山本宮浅間大社、白糸ノ滝、村山浅間神社、富士山資料館など

公開セミナーの受講者を対象に現地学習会を実施しました。

今回の学習会は富士山の世界文化遺産登録における構成資産候補地を視察しました。参加者からは「富士山について新たな発見があった」、「富士山の文化的価値を再認識できた」、「詳しい説明を聞くことができて非常に興味深かった」などの感想が寄せられました。

来年も同様のセミナーを行う予定ですので、多数の皆様のお参加をお待ちしています。



<富士山本宮浅間大社での説明の様子>

## 6 会員活動紹介

本号より、会員相互の連携・交流を図り、会員同士の交流の輪を広げることを目的として、「会員活動紹介」を行います。

今回は、今年度よりふじさんネットワークの幹事に就任した「NPO法人富士市のごみを考える会」の活動を紹介します。

### NPO法人富士市のごみを考える会

住所 富士市大淵27-6

TEL 0545-35-2439

<http://fujigomizero.sakura.ne.jp/>

私たち「NPO法人富士市のごみを考える会」は、富士山麓にある富士市を中心に、ごみなどの環境問題について日々考えている団体です。

主に、富士市内の小学校を中心に環境教育を行っています。子どもたちには、環境を良くするために行われている様々な取組に関心を持つこと、ごみを減量化することの大切さや3R（リデュース、リユース、リサイクル）について理解すること、地球を守るために自分ができることを生活の中で実践することを呼びかけています。

ただ、お話をするだけではなく、紙芝居「富士山とごみと私」（今年度、ふじさんネットワーク補助金を活用して作成しました。）を使ったり、ごみゼロ博士おもしろクイズ、ごみの分別ゲームをするなどして、子どもたちの興味を引く工夫をしています。



また、静岡県が主催している「富士山ごみ減量大作戦」にも、平成18年から毎回参加しています。清掃活動を通じて、富士山のごみの現状把握に努めています。

その他の活動として、現在、約8,600個の食器と小型の食器洗浄機を保有しており、イベントで使い捨て食器の代わりにリユース食器を使うことでごみを減らしています。今年度は、26イベント、15,000個ほどの貸し出しを実施しました。富士地区のみならず、御殿場市、下田市など他地区からの使用実績もあります。

～私たちの活動に興味のある方は、ぜひご連絡ください～



2010年3月 vol.32

編集・発行／ふじさんネットワーク事務局

静岡県環境局自然保護室内

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 電話054-221-2963 ファックス054-221-3278

E-mail [3776fujii@pref.shizuoka.jp](mailto:3776fujii@pref.shizuoka.jp) URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

### ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 土隆一  
(静岡大学名誉教授)
- 会員数 419団体・個人  
(H22.2.28現在)